

～ for the healing art of the 21st century ～

つるかめクリニック ニュース

つるかめクリニック広報誌

2023
第 6 号

特集

- ・大腸内視鏡検査のすすめ ～大腸がんの早期発見のために～ …… 3
- ・特集記事「生活習慣病」糖尿病代謝内科 …… 4 5
- ・対談記事「女性と甲状腺」佐野先生×岡本先生 …… 12 13



- ・西元理事長〈インタビュー記事〉:ワクチンについて … P2
- ・各クリニックピックアップ … P6～11
- ・予防接種紹介 … P14
- ・2022年度の実績一覧 … P15

医療法人社団つるかめ会
理事長 西元 慶治

ワクチンについて

WHOは去る5月4日、専門家委員会を開き、緊急事態の解除について検討しました。その結果、専門家らが解除を提言し、テドロス事務局長が最終的に緊急事態の解除を判断しました。(緊急事態の解除であり、流行の終息ではないことに留意。)ようやくコロナ禍も収束に向かっているように思えますが、皆様には息災でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

思えば2019年末の中国武漢での発生から、優に3年半の長きにわたって、国民生活に多大な不便と逼塞感を与えてきました。この間、世界では6億7650万人の感染が確認され、688万人が亡くなっています。(死亡率1%)ただこの数字もWHOやJohns Hopkins大学が掌握できた数字であり、実際はもっと多いと言われています。わが国では2023年4月時点で累計3374万人が罹患し、74,560人が亡くなっています。(死亡率0.2%)心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて今やこの長いトンネルを抜け出して、わが国はこれからどういう方向に向かうのでしょうか? 1945年、国中が焦土と化した敗戦の痛手から、奇跡的な復興を果たしたわが国民の勤勉な資質と、以来78年間まがりなりにも守ってきた民主主義の伝統を顧みるに日本は遠からずコロナ禍を克服することにわたしは疑いを持ちません。一方、コロナ・ワクチンの効果については賛否両論があるようですが、副反応の程度と頻度に対して予防効果のベネフィットを比べたとき後者が優っていることは多くの学者や研究機関の認めるところであります。コロナ禍が緊急事態ではなくなったとは

いえ、流行は今後ともしばらく続くものと考えられ、その死亡率が0.2%であることは、季節性インフルエンザの超過死亡率、約0.1%程度と比較すると、コロナはインフルエンザの2倍程度は危険であると用心すべきでしょう。

厚労省の管轄するワクチン行政は「一人の副作用死や後遺症者も出すべきではない」という国民の過剰な要求とそれを煽るマスコミ報道の見識のなさのためにしばしば、頓挫してきました。国際的に見て、最も恥ずかしい例が子宮頸がんに対するワクチン行政です。子宮頸がんは毎年約2万人が罹患し(診断される数は約1万人)死亡者数は約2800人です。子宮頸がんはパピローマウイルス感染が原因ということは既に確立された事実であり、世界の先進国では積極的にワクチンを打っており、頸癌の死亡は劇的に少なくなっています。翻ってわが国ではこの10年余り、副反応を非難されることを恐れた厚労省が「積極的な接種は推奨しない」という退嬰的なコメントを出して以来、接種件数が非常に少なくなりました。この間、2万人にもなると見積られる死者に対して、誰がその責めを負うのでしょうか?

コロナ・ワクチンにせよ、子宮頸がんワクチンにせよ、良心的な医学者や医療研究機関の推奨するワクチンについては国民の皆様はお受けになることを推奨いたします。つるかめ会では科学的で信頼のおける医療情報の提供に今後とも真剣に努力して参ります。

大腸内視鏡検査のすすめ ～大腸がんの早期発見のために～

大腸がんは、2021年がんの部位別死亡数において、女性で1位、男性で2位となっています。早期の段階で自覚症状が出ることはほとんどなく、症状が出る頃にはすでに進行していることが多いため、症状がなくても定期的に検査を受け、早期発見・早期治療に努めることが大変重要になります。

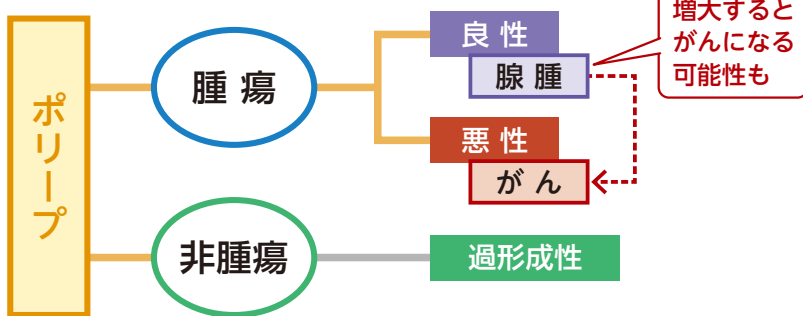
大腸がんの症状として多い血便は、痔だと思い込んでしまうことがあるため注意が必要です。自覚症状がある方は消化器内科を受診していただき、医師と相談のうえ大腸内視鏡検査を受けることをおすすめします。

■がん死亡数の順位(2021年)

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|-----|----|----|----|----|----|---------------------------|
| 男女計 | 肺 | 大腸 | 胃 | 膵臓 | 肝臓 | 大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位 |
| 男性 | 肺 | 大腸 | 胃 | 膵臓 | 肝臓 | 大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位 |
| 女性 | 大腸 | 肺 | 膵臓 | 乳房 | 胃 | 大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸10位 |

参考：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）

■大腸がんの特徴とは



大腸がんの特徴として、早期の段階では症状が現れることはほぼありません。大腸に発生するポリープが、数年かけて大腸がんに移行するケースが大半です。大腸ポリープの大部分を占めるのは「腺腫性ポリープ」ですが、このポリープが、がん化するリスクをはらんでいます。このポリープを検査で発見し、切除することが大腸がんの一番の予防になります。

■大腸がんの原因は？

生活習慣

- 肥満
- アルコールのとりすぎ
- 運動不足
- 喫煙

など

「高齢」「遺伝」

など

左記の方は大腸がんにかかるリスクが高いため、生活習慣を見直すとともに、大腸内視鏡検診を積極的に受けることをおすすめします。今までに便潜血検査しか受診されていないという方も、ぜひ一度検査を受診してみてください。

つるかめ会が誇る『安心な内視鏡検査』をおすすめいたします

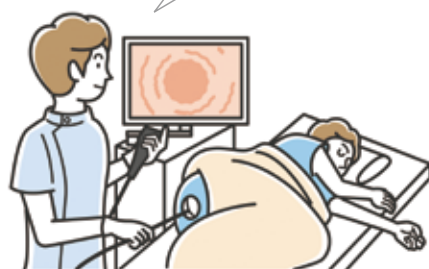
- メリット① 内視鏡専門医が対応(胃の組織生検・大腸ポリープ切除も実施)
- メリット② 胃・大腸内視鏡の同日実施可能(要事前予約)
- メリット③ 健康診断を受診する際、鎮静剤を使用しても追加料金なし

鎮静剤を使用した方から「寝ている間に検査が終わって楽だった」との感想を数多くいただいております。



〈上部消化管内視鏡検査 イメージ〉

同日実施可能



〈下部消化管内視鏡検査 イメージ〉

糖尿病代謝内科について



小金井
つるかめクリニック
深石 貴大

こんにちは、小金井つるかめクリニック 糖尿病代謝内科の深石と申します。

「糖尿病代謝内科について」というテーマで寄稿の機会をいただきましたので、私たちが普段どのような診療をしているかということについて簡単に綴りたいと思います。

糖尿病代謝内科という名称である以上、まずは糖尿病をメインに診療します。糖尿病とは簡単に言うと血糖値が高くなる病気で、初期には自覚症状を伴わないのですが、病状が進んで合併症を起こすと、生活の質が低下する、最悪の場合命を失うこともありますので、早めの治療開始が重要です。

合併症は、血液中に増えた糖が血管を傷つけることにより発生するもので、細小血管合併症と大血管合併症に分かれます。

細小血管合併症は、①神経の障害により足の痛みやしびれを起こす神経障害、②眼の血管の障害による網膜症、③尿を作る臓器である腎臓の血管の障害による腎症の3つがあり、三大合併症と呼ばれます。神経障害は最悪の場合足の切断、網膜症は失明、腎症は透析(腎臓が機能しなくなり、機械に腎臓の肩代わりをしてもらう治療)につながる可能性があります。

大血管合併症は、心臓を養う血管の障害による狭心症・心筋梗塞、脳を養う血管の障害による脳梗塞、足先の血管のダメージによる末梢血管疾患などに大別されます。

糖尿病は、1型糖尿病という、血糖値を下げる物質であるインスリンが体の中で作られなくなってしまうことで発症するものと、2型糖尿病という、遺伝的な体質に加え、過食や運動不足などのライフスタイルが組み合わさって発症するものに大別されます。

前者の場合、基本的には生涯にわたるインスリン注射が必要です。後者の場合は、治療の基本としては、まずは食事運動療法を行いつつ、不十分であれば内服薬やインスリン注射を組み合わせる、というやり方が原則です。

重要な点として、「1型糖尿病は体質的なものなので発症は仕方がないが、2型糖尿病はだらしない人になる病気だ」という声を耳にすることがあります。これは大きな誤解で、上述の通り、2型糖尿病は遺伝的な体質とライフスタイルが組み合わさって発症するもので、決して不摂生のみで発症するわけではありません。



せん。やせ型の2型糖尿病の患者さんもいれば、肥満があっても血糖値は全く正常な人もいますし、そもそも太りやすい・やせ型である、というも遺伝的な体質が大きいです。「2型糖尿病になるのはだらしがないからだ」「糖尿病患者は早死にするのでローンや生命保険に加入させない」などの心ない声を、昨今「stigma」と呼び是正しようという流れも起こっています。

その他、脂質異常症、高血圧症、あるいはバセドウ病、橋本病、副腎疾患などの内分泌疾患も専門的に診療しています。

最後に、当科外来でよく聞かれる「薬を飲まなければいけないのか?」「飲んだら一生やめられないのでは?」という疑問にお答えしたいと思います。

血糖値、血圧、脂質など、ここまで下げた方がよいという治療目標値が決まっています。値は患者さんの病状によって様々で、他に持病がある、遺伝的要因や喫煙などで動脈硬化リスクが高い、などの場合数値が厳しくなることもあります。食事運動療法のみでそれらの数値をクリアできれば良いのですが、それを達成できない場合、放置することによる健康リスクが高いため、薬による治療が望ましくなります。

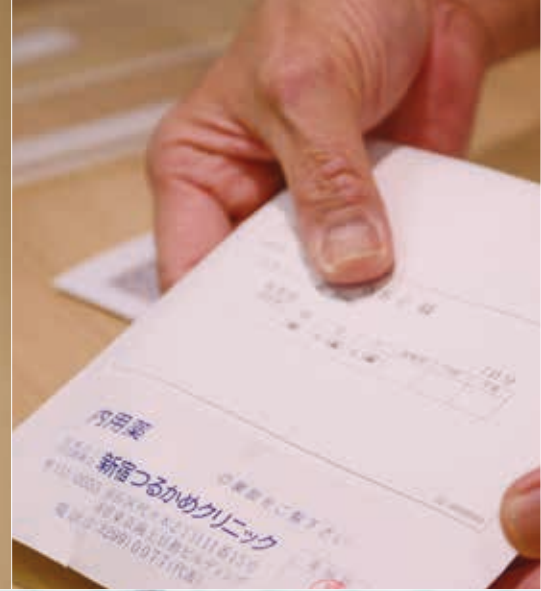
風邪薬とは違い、内服をやめると基本的に数値は元に戻ってしまうので、その点では長い付き合いになる薬という認識になります。しかし、食事制限、減塩、運動、節酒・禁煙などの努力を続け、薬以上の治療成果が得られていると判断されれば、薬を減らしたり、なしにしたりすることもあります。

以上、糖尿病が中心となりましたが、当科について簡単に紹介しました。3クリニックにおいて多くの専門医が外来を設けていますので、ぜひお気軽にご受診・ご紹介いただけますと幸いです。

小金井つるかめクリニック
糖尿病代謝内科のページはこちらです。
お気軽にご相談・ご受診ください。



医療法人社団 つるかめ会 新宿つるかめクリニック



新宿つるかめクリニック

診療科一覧

総合内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病代謝内科・呼吸器内科
漢方内科・腎臓内科・リウマチ膠原病内科・神経内科・血液内科
皮膚科・泌尿器科・脳神経外科・整形外科・ペインクリニック内科
眼科・耳鼻咽喉科・内分泌外科・乳腺外科・婦人科

全身をトータルにサポートできる総合診療クリニックです！

健康診断では診断精度の向上に努めています。

外来では複数の診療科で各専門医を揃え、専門性の高い診療にあたっています。

また、院内他科紹介が行えるため「全身をトータルに」診ることができます。

多くの高次医療機関と医療連携の強化を図っています。

※外来のWEB予約はこちらから▶
(予約可能な診療科が限られておりますので、ご希望の診療科が見当たらなければクリニックまでお問い合わせください。)



✓ 新規・更新検査機器のご紹介

●尿流量測定装置(TOTOアクアエンジ社:フローズカイ)を新設しました

排尿時の勢い・1回の排尿量・排尿にかかる時間などを測定する検査です。前立腺肥大症や神経因性膀胱などの排尿障害の診断や治療経過の判断に用いられます。当院の検査装置は採尿室内にある、一見ごく普通のトイレですので緊張感なく自然な状態で検査することができます。

●デジタルマンモグラフィ(乳房X線撮影)装置を更新しました

体に触れる部分の機械的冷たさを感じさせない素材を使用している機器です。キヤノンメディカルシステムズ社が独自開発した圧迫時の痛みを軽減するシステムを搭載しています。撮影認定の資格を取得した女性技師が緊張感を和らげられるよう丁寧に対応しております。

●耳鼻咽喉科用ファイバースコープ増設

受診をご希望いただく方が増え、ファイバースコープによる精密検査の需要も増えてまいりました。最近では、ファイバースコープの消毒が間に合わず、お待たせする時間が長くなっておりましたため、この度増設いたしました。よりスムーズな診察へのご案内を今後も心掛けていきます。

✓ 2023年4月より人間ドック健診研修施設の認定を受けました

日本総合健診医学会の優良総合健診施設認定を長年継続しておりますが、この度「人間ドック健診研修施設」の認定を取得することができました。

健康診断・人間ドックにおいては、診断の精度向上に日々研鑽を重ね、病気の早期発見、予防に努めて参ります。

公式LINE の友だち

がどんどん増えています!

まだ友だちになっていない方!お待ちしております。
公式LINEの友だちになると...

メニューから

- 公式ホームページがワンクリックで見られます。
- 外来・健診Web予約の予約画面に飛ぶことができます。
- 外来担当医表や健康診断のご案内が検索しなくても確認できます。

公式LINEではこのような情報を提供しています。

- ▶ 毎月 診察担当医表の配布
- ▶ 毎月 医師の休診お知らせ
- ▶ 医師の急な休診のご連絡
- ▶ 各種ワクチンや検査などの取扱い情報
- ▶ 健康診断のお得(?)な情報
- ▶ 施設に関する情報
- ▶ その他クリニックに関する新着情報

など

ぜひご登録ください!



事務長からの ひとこと



企業のIT化が進む一方で「サイバー攻撃」「ランサムウェア」といった言葉がメディアからしばしば聞かれます。病院の個人情報は機密情報として厳重に管理されるべきものですが、こういったニュースには恐怖を感じます。当会では、専門のスタッフと設備を有する情報システム部門を構えており、不測の事態とならぬようセキュリティへの投資と日々の監視を怠らないようにしています。皆様に安心してご受診いただくために、こうした努力も続けて参ります。



ミラザ新宿つかめクリニック

診療科一覧

消化器内科・婦人科・乳腺外科・循環器内科
糖尿病代謝内科・内分泌外科・血液内科・総合内科

開院5年目の2023年4月から消化器内科の常勤医と内分泌外科の医師を迎え、診療科数も充実してまいりました。甲状腺疾患は女性に多く、症状も更年期やPMS等と重なることから、内分泌医と婦人科や乳腺外科との連携をさらに密にし、クリニック内で一貫して相談いただける体制を整えました。

どこの病院に行こうか迷われた時は、お気軽にご相談ください。

※外来のWEB予約はこちらから▶
(予約可能な診療科が限られておりますので、ご希望の診療科が見当たらなければクリニックまでお問い合わせください。)



✓ 内視鏡検査の受入枠と外来診察枠の拡充

消化器内科の常勤医を迎え、消化器内科医師二人で検査・診察が行えるようになり、内視鏡検査の受入枠と外来診察枠の拡充を行いました。またその医師を支える看護師も内視鏡技師免許を取得し、より安全な医療を提供しております。

✓ 内分泌外科のご案内

毎週火曜日と水曜日の午後に、内分泌外科の診療枠を新設致しました。
甲状腺・副甲状腺・副腎などの気になる症状がございましたらご相談ください。
また現在治療中の病気の診断内容や治療法に関し、内分泌外科専門医より意見を聞いて今後の治療の参考にしていただくための“セカンドオピニオン”も承っております。
詳しくは当院ホームページの内分泌外科をご覧ください。

✓ 带状疱疹予防用ワクチンのご案内

新宿区では50歳以上の方を対象に2023年4月からシングリックス・ビケン(乾燥弱毒性水痘ワクチン)の接種費用の助成が受けられます。新宿区在住の方で助成を受けて接種をご希望の方は、新宿区から予診票の取り寄せが必要となります。
詳しくは新宿区役所ホームページをご覧ください。

検査科より

甲状腺検診のご案内

皆様は、健康診断や人間ドックのメニューには通常含まれていませんが、甲状腺の検査を受けたことはありますか？

当院では、オプション検査として、甲状腺超音波検査や甲状腺の採血検査を受けることができます。

超音波検査では、甲状腺の大きさ、しこりの有無をチェックします。
採血検査では、甲状腺ホルモンを測定し、甲状腺のはたらきを確認します。

甲状腺のはたらきは、働きすぎ(亢進症)では動悸や手の震え、休みがち(低下症)では疲れやすくなるなど、様々な不調がおきます。

一度も受けたことがない方には、ぜひおすすめしたいオプション検査です。

受診当日の追加検査も可能なのでお気軽にお声かけください。

経過観察や精密検査が必要な場合、二人の医師(内分泌外科医、糖尿病内分泌代謝内科医)が甲状腺外来を担当していますので、この機会に皆様の健康管理にお役立てください。



LINE公式アカウント
はじめました!

毎月の診察担当医表や医師の休診情報、ブログの更新やクリニックの最新情報など役立つ情報を発信しております。

LINE「お友だち追加」から右のQRコードを読み取ってください▶





医療法人社団 鶴亀会

小金井つるかめクリニック



小金井つるかめクリニック

診療科一覧

総合内科、消化器内科、呼吸器科、糖尿病代謝内科、循環器内科、血液内科、漢方内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、泌尿器科、脳神経外科、ペインクリニック、皮膚科、婦人科、乳腺外科

武蔵小金井駅南口徒歩一分、総合内科のほか、各種専門外来、婦人科、乳腺外科、泌尿器科、脳神経外科等を揃える総合クリニックを目指しています。

内視鏡検査に力を入れており、多摩地区でも随一の件数を実施しています。

胃カメラ検査・大腸カメラ検査は同日実施が可能です。

また健康診断に幅広く対応しており、小金井市や周辺の自治体の健康診断（特定健診、乳がん検診、子宮がん検診など）、各種健康保険組合の健康診断も受診可能です。

お気軽にお問い合わせください。

※外来のWEB予約はこちらから▶

(予約可能な診療科が限られておりますので、ご希望の診療科が見当たらなければクリニックまでお問い合わせください。)



オプション検査のご案内 ～健康診断受診時に任意で追加出来る検査です～

●腫瘍マーカー（血液検査）

がん細胞の増殖の指標として、血液などで判定出来るものを腫瘍マーカーと呼びます。胃・大腸・膵臓のセット(4,950円)、肺(4,950円)、前立腺(2,200円)など、数種類ございます。

●甲状腺検査

体がだるい、息が上がりがやすい、動悸がする、発汗しやすい等の症状はありませんか？甲状腺の形態・機能を判定します。甲状腺超音波 5,500円、甲状腺血液検査 3,300円

●動脈硬化検査

血管狭窄の程度や血液の流れの状態などから、動脈硬化の進行具合を判定できます。頸動脈超音波検査 5,500円、血圧脈波検査(CAVI) 2,200円

●腸内フローラ検査

大腸がんのリスクや、肥満・便秘の症状を改善するための生活習慣の改善方法がわかります。22,000円

この他にも多数オプション検査がございます。
ホームページをご参照いただくか、お問い合わせください。



健康診断を受けた後は・・・

健康診断は受けただけでは意味がありません。再検査や精密検査などの指示が出た場合には、必ず二次検査を受診しましょう。

Web予約のご案内（健康診断）

当院ホームページから予約サイトにアクセスして、24時間お手軽にお申込みいただけます。（新規利用の方は「CARADA」へのアカウント登録が必要です。保険証の記号番号の登録が必要となりますので、お手元に保険証をご準備の上、ご登録をお願いいたします。）



Web予約のご案内（外来診療）

当院ホームページから予約サイトにアクセスして、24時間お手軽にお申込みいただけます。予約可能な診療科が限られておりますので、ご確認の上ご利用ください。



院内Free Wifi 完備！

院内にQRコードを掲示しています。是非ご利用ください。

臨床部門からのお知らせ

武蔵小金井駅より徒歩1分に開業した小金井つかめクリニックは、今年で14年目を迎えます。7つの診察室で様々な分野にわたり、専門の医師が日々診療を行っております。

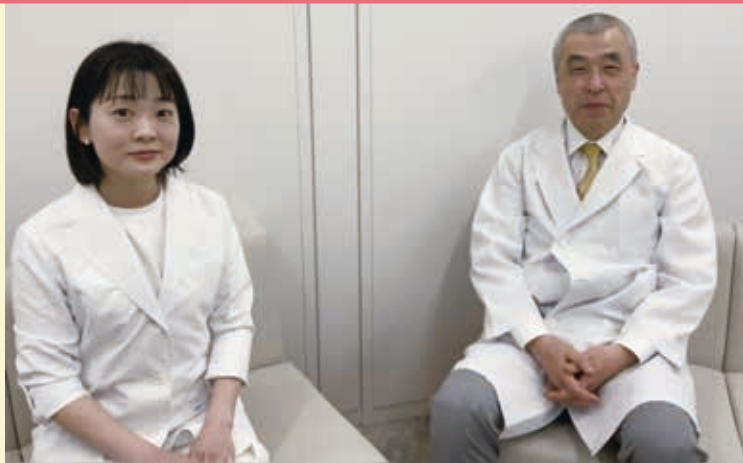
診断に欠かせない検査も、健康診断の再検査から内視鏡やCTを用いた精密検査まで幅広く行っております。また、今年度より、診察室に超音波検査装置を常設いたしましたので、医師がその場で診断を行うことも可能になりました。

臨床部門として、正確な検査結果を迅速にお伝えすることは大きな役割の1つです。

臨床検査部門・放射線診断部門・内視鏡センター、各部署専門分野は異なりますが、当院はスタッフ同士の繋がりが強く、様々な症状を抱えた受診者にチームで対応しています。

より多くの方にいち早く体調の変化を相談できるクリニックとして、皆様の声に応えられるべく今後も精進して参ります。

気になることがございましたら、お気軽にお声掛けください。



ミラザ新宿つかめクリニックも今年で開院5年目を迎えます。ミラザ新宿つかめクリニックでは婦人科の診療にも力を入れており、月経のトラブルや更年期の治療をご希望で来院される女性も増えています。診療を担当する佐野医師によると、婦人科診療との関わりが大きいのが女性に多い甲状腺の病気だそうです。今年度よりつかめ会は長年甲状腺癌の治療に携わってきた内分泌外科の岡本医師を準常勤医師として迎えました。そこで今回は佐野医師たっての希望で「女性と甲状腺」というテーマで岡本先生に対談・インタビューをしていただきました。

佐野 (Dr.以後敬称略)：先生の専門である内分泌外科は、一般の人には少し聞き慣れない言葉かと思えます。具体的にはどのような病気を専門にされているのでしょうか。

岡本 (Dr.以後敬称略)：内分泌外科とはホルモンを作っている器官に生じた病気（主にしこり）の治療を専門としています。具体的には甲状腺・副甲状腺・副腎の3つの器官です。この中で一番多いのが甲状腺の病気です。2021年までは乳線外科の統括もしており、乳癌の診断・手術にも携わってきました。

佐野：甲状腺や乳腺の病気は女性に多く、産婦人科の治療にも関わってきます。また不妊症や流産、月経不順をきっかけに甲状腺の病気がわかることも多いです。また産科では甲状腺に持病のある妊婦さんも多かったです。

岡本：私の患者さんでも甲状腺癌の術後に出産する方は多くおられます。また妊娠中に副腎の腫瘍が見つかったりすると、妊娠中でも手術が必要になることもありました。

佐野：更年期の症状でも動悸・発汗や抑うつなどは甲状腺機能異常の症状とよく似ています。更年期の症状と思って甲状腺の病気を見逃さないように日頃から気をつけています。ところで甲状腺癌の場合、自覚症状はあるのでしょうか。

岡本：実は甲状腺癌の場合7割は無症状です。3割では腫瘤を触知したり、反回神経という神経に影響がでて嚙声(かれ声)がでたりして気づく方もいます。

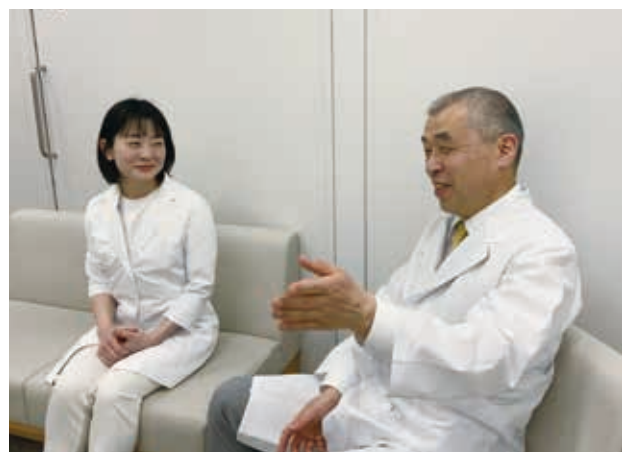
佐野：甲状腺癌の場合、治療はどのようなものになりますか。

岡本：基本は手術で、ステージにもよりますが全摘出と片葉切除の2つの方法があります。片葉切除は日本独自の術式で、癌のある側のみを摘出します。日本の研究結果では全摘出でも片葉切除でも予後が変わらないことがわかり、海外でも徐々に片葉切除が普及してきています。

佐野：片葉切除が日本独自とは存じ上げませんでした。メリットは何なのでしょうか。

岡本：甲状腺を全部摘出すると、術後には甲状腺ホルモンの補充が必要です。半分残すことで甲状腺機能が保たれ、ホルモンを補充する確率を下げることができます。日本人は薬を飲むのが嫌いなので、そのあたりの文化が関わっているのかもしれませんが。

佐野：最近では甲状腺癌でも手術をしなくなっているという話も聞きます。詳しく教えてください。



岡本：女性に多い甲状腺の乳頭癌の場合、1cm以下であれば手術をしない選択肢もあります。10年経っても92%は大きさが変わらず、3mm以上大きくなるのが8%とされているためです。

佐野：進行が遅いので放っておいても生きている間に悪さをする確率は低いということですね。ただ癌で何もしないという選択肢は医師にとっても患者さんにとっても勇気があることですよ。きっかけはあったのでしょうか。

岡本：海外で剖検（ご遺体を解剖して調べること）をすると甲状腺癌がある方が沢山みつき、なおかつ死因とは無関係であることが報告されました。これをきっかけに実は甲状腺癌は治療しなくていいのではという仮説がたてられ、日本の2つの病院で研究が始まりました。

佐野：これも日本が主導の研究なのですか？

岡本：はい。2010年に日本のガイドラインに方針が明記され、2015年に米国のガイドラインでも明記されました。

佐野：ただ手術をしない選択肢があるというだけでするかどうかは患者さんの希望に沿ってという所でしようか。

岡本：その通りです。個人的には1cm以下で手術したけれど術後に遠隔転移を起こした症例もあります。多くは大丈夫だけれど、例外もあり、予測できないところがいくら経験を重ねても難しい所です。

佐野：先生はミラザ新宿つかめクリニックでは甲状腺のセカンドオピニオン外来もされていますよね。先生のような豊富な経験があれば、患者さんも安心して相談できるように感じます。

プロフィール



内分泌外科
岡本 高宏

日本外科学会外科専門医、指導医
日本内分泌・甲状腺外科専門医
日本乳癌学会乳癌専門医
マンモグラフィ読影認定医

新宿つかめクリニックで火曜日午前・土曜日、
ミラザ新宿つかめクリニックで火曜日午後・水曜日、
小金井つかめクリニックで金曜日午後の診療を担当。
豊富な診療経験を基に甲状腺・代謝内分泌・乳癌疾患の診療を担当している。



婦人科
佐野 靖子

産婦人科専門医
女性医学会(旧更年期学会)専門医
抗加齢医学会専門医
思春期学会 性教育認定講師

ミラザ新宿つかめクリニックで月・水・木・金の婦人科外来を担当。
一般の婦人科診療はもちろん更年期障害の診療に力を入れている。

対談を終えてDr.佐野より

急な申し出にも関わらず、今回の企画を快諾して下さいました岡本先生。物腰の柔らかさでクリニックのスタッフからも非常に人気が高いです。今回の対談を通して、飾らない人柄や患者さんを思う気持ちを話の流れの至る所で感じました。一緒に働いていて、今でも常に研究や勉強を続ける姿勢も尊敬しています。ミラザ新宿つかめクリニックでは私は水曜日に岡本先生と一緒に診察をしています。必要に応じて連携し、スムーズに治療をすすめていけたらと考えております。

ミラザ新宿つかめクリニックのブログでも甲状腺の病気や婦人科・更年期障害の治療についてDr.が発信しています。是非ご覧下さい。





予防接種紹介

予防接種は、感染、重症化の予防の目的として、当院でも多くの種類のワクチンを取り扱っております。詳しくはつるかめ会ホームページを参照ください。

今回は、2023年4月から各自治体で公費対象となった2種類のワクチンをご紹介します。

尚、ワクチンの費用助成金額については、各区市町村にご確認ください。

1 | 带状疱疹ワクチン

带状疱疹は水疱瘡にかかったことのある人が大人になって抵抗力が落ちた時に発症しやすい病気で神経に痛みが残る事もある厄介な病気です。

80歳までに3人に1人が罹患すると言われています。

| 带状疱疹ワクチン | | 接種年齢：50歳以上 |
|-------------|-------------|--------------------------|
| ワクチン名 | 接種スケジュール | 解説 |
| 乾燥弱毒性水痘ワクチン | 1回 | 生ワクチン 妊婦、免疫抑制治療中は接種不可 |
| シングリックス筋注用 | 2か月間隔を空けて2回 | 不活性ワクチン 免疫抑制治療中でも接種可 |

2 | 子宮頸がんワクチン

国の定期接種勧奨が2022年4月に再開されました。

子宮頸がんは国内で年間約10,000人が罹患、約3,000人が死亡していると報告されています。

ワクチンと定期健診で早期発見、経過観察等負担の少ない治療につながります。

| 子宮頸がんワクチン | | 接種年齢：小学6年生～高校1年生 |
|---------------------------|-------------------|--|
| ワクチン名 | 接種スケジュール | 解説 |
| サーバリックス | 初回、4週後、6か月後の3回接種 | 子宮頸がんの原因となるHPV16、18型を予防 |
| ガーダシル | 初回、2か月後、6か月後の3回接種 | 子宮頸がんの原因となるHPV16、18型を予防 尖圭コンジローマの原因となるHPV6型11型を予防 |
| シルガード9 (2023年4月より公費対象) | 初回、2か月後、6か月後の3回接種 | 子宮頸がんの原因となるHPV16、18、31、33、45、52、58型を予防 尖圭コンジローマの原因となる6、11型を予防 |

薬局部門 薬剤師 壬生美子



つるかめ会 予防接種についてはこちらから

URL:<https://tsurukamekai.jp/vaccination.html>

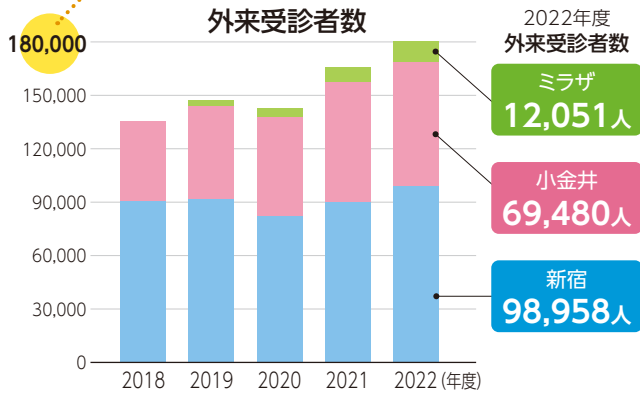


外来実績

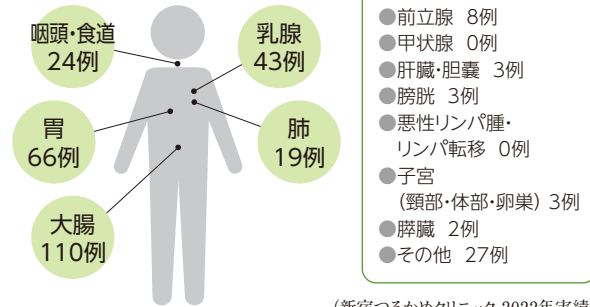
身近で質の高い「総合クリニック」を目指して

- 外来診療では多数の診療科を揃え、各専門領域をカバーしています。
※ 標榜している科はクリニックによって異なるため、各クリニックのページをご参照ください。
- 大学病院・総合病院との医療連携も多く、入院等が必要な場合はスムーズにご紹介できます。

つるかめクリニック全体の年間外来受診者数は延べ180,489人で、東京都中央区の人口に迫る規模の診療を行っております。



臓器別がん取扱数(診断数)

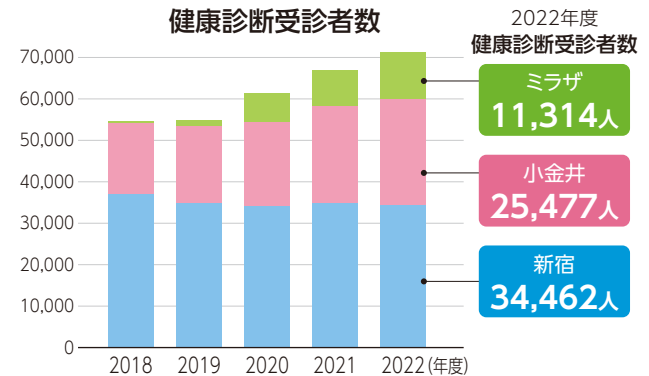


健康診断実績

健康診断による疾患の「早期発見」をモットーに

- がん、心血管系疾患、加齢に基づく疾患などの早期診断、早期治療が可能です。健康診断で異常があった場合や症状のある方はそのまま外来診療にご案内できます。
- 日帰り健康診断件数は年間70,000件超。

つるかめクリニック全体の年間健康診断受診者数は71,253人で、東京ドームの最大動員数とほぼ同じ規模となります。

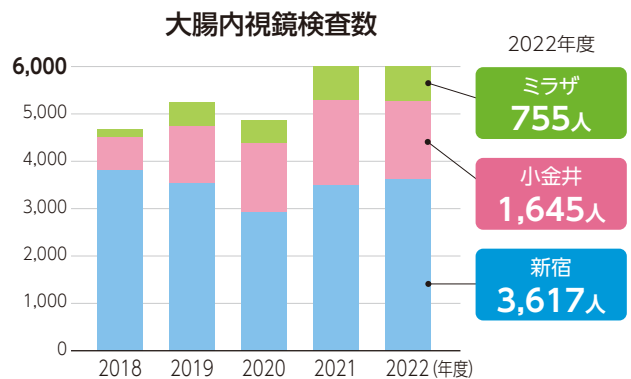
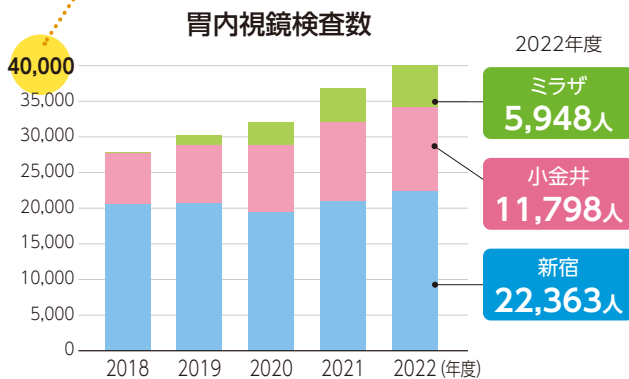


消化器内視鏡実績

検査精度と安全性を兼ね備えた「内視鏡検査」

つるかめクリニック全体の年間胃内視鏡検査数は40,109人で、コロナ禍前の東京マラソン参加者数とほぼ同じ規模となります。

- 胃内視鏡、大腸内視鏡は多数在籍する経験豊富な専門医が実施し、同日に両方とも検査できます。年間実績46,000件超。
- 鎮静剤を使用した苦痛の少ない検査を実施します。



3クリニックのご紹介

各クリニックとも天候に左右されない駅近くの好立地です。
安心してご来院ください。

*クリニックニュースは当院ホームページでご覧になれます。

新宿つるかめクリニック

〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-11-15
新宿東京海上日動ビルディング3・4階

- JR新宿駅 南口から甲州街道を初台方面へ徒歩5分
- 都営大江戸線・都営新宿線・京王新線 新宿駅6番出口直結

代表・外来予約

TEL **03-3299-0077**

FAX 03-3299-4985

月曜日～土曜日
8:30～18:00

健診予約専用

TEL **03-3299-8900**

FAX 03-3299-4985

月曜日～土曜日
8:15～17:00

HPはこちら



ミラザ新宿つるかめクリニック

〒160-0022
東京都新宿区新宿3-36-10
ミラザ新宿7階

- JR 新宿駅中央東口から徒歩1分
- 都営大江戸線・都営新宿線 新宿駅1番出口から徒歩5分

外来・健診予約

TEL **03-6300-0063**

FAX 03-6300-4114

月曜日～土曜日
8:15～18:00

HPはこちら



小金井つるかめクリニック

〒184-0004
東京都小金井市本町6-14-28
プラウドタワー武蔵小金井3階

- JR中央線 武蔵小金井駅南口から徒歩1分

代表・外来予約

TEL **042-386-3757**

FAX 042-386-7390

月曜日～土曜日
8:30～17:30

健診予約専用

TEL **042-386-3737**

FAX 042-316-7794

月曜日～土曜日
8:30～17:00

HPはこちら

